

2022 年度 事業報告書

はじめに

本学は、1927年（昭和2年9月）に、我が国初のエックス線技師の養成機関として「島津レントゲン技術講習所」を設立しました。以来、一貫して変わらぬ建学の精神のもと、時代の要求に沿う高度な技術を修得した診療放射線技師を輩出するべく、診療エックス線技師制度の変遷に対応しながら、専修学校、専門学校、短期大学と技師教育一筋に歩みを進めて参りました。

このような歴史を継承し、社会の要請する、より高度な医療技術者を輩出するために、2007年（平成19年4月）に4年制大学である京都医療科学大学へ改組しました。

18歳人口の減少とともに私立大学を取り巻く厳しい環境の中、①放射線技術学科の深耕、内容の充実 ②医療専門職にふさわしい学士力の醸成と品性の確保 ③教育・研究環境の充実 ④法人・教学の健全な管理運営の維持 を基本方針として教育活動を展開しました。

については、2022年度事業報告書を作成しましたので、以下のとおりご報告します。

学園の概要

1) 建学の精神

品性を陶冶し有為の技術者を養成するを以て目的とす。



教育理念

医療科学に関する高度の知識及び科学技術について教育・研究するとともに、品性を陶冶し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為の医療専門職の人材を育成する。

教育目的

京都医療科学大学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、医療科学に関する高度の知識及び技術について教育・研究するとともに、品性を陶冶し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為の医療専門職の人材を育成することを目的とします。

2) 京都医療科学大学3つのポリシー

(ア) 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

京都医療科学大学では、建学の精神に沿って次のような人物を求めている。

- ① 医療科学における高度先端知識の修得に意欲を持つ人物
- ② 常に問題意識を持ち、課題解決に向けて思考し、理解しようという意欲を持つ人物
- ③ 多種多様な医療の職場環境において、常に明るく、協調性と積極性に富み、柔軟に対応できる素養のある人物

④ 診療放射線技師として、将来、社会貢献したいという意欲を持つ人物

求める能力

- ・ 基礎的な数学能力
- ・ 基礎的な国語能力
- ・ 基礎的な英語能力

(イ) 教育課程方針（カリキュラムポリシー）

京都医療科学大学では、ディプロマポリシーに要求される能力を修得するため、教養教育科目、専門基礎科目、専門科目、総合科目に区分し、以下の方針でカリキュラムを編成する。

- ① 教養教育科目では、社会における医療人としての幅広い人間性を形成するため、高等学校で学んだ基礎知識をさらに深める。また、科学的思考の基盤となる数学や物理学、生物学等を初年次に学び、科学技術の進展等に対応し得る統合された知の基盤を獲得するための科学的思考を養い、専門基礎科目への導入をはかる。さらに、生活の基盤及び人間に対する理解を深めるための科目を配置し、グローバル社会でチーム医療の一員として活躍するためのコミュニケーション能力を養う科目等を配置する。
- ② 専門基礎科目は、専門的知識や技術を学修するための基礎となる科目群であり、思考力、判断力を養い、進歩の著しい放射線技術学の実践応用に対応できる基礎知識を修得するため、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち及び理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術を学ぶ科目等を配置する。
- ③ 専門科目では、実践を支える専門的知識・技術を確実に修得する科目として、診療画像技術学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、医用画像情報学、放射線安全管理学、医療安全管理学等の科目群を配置する。さらに、学内の最新医療機器を用いた実験実習科目では、進歩の著しい放射線技術学分野の知識を確実にし、発展させ、学生自らが探求し、応用する能力を養う。
- ④ 総合科目では、これまでの学修の集大成として総合研究及び総合演習を実施する。総合研究では、学生の主体的な研究を通して、研究テーマの決定、問題解決能力、研究計画の立案能力、論文作成能力を体得する。総合演習では、専門基礎科目、専門科目で学修した内容について、知識・技術を総合的に整理して臨床現場で迅速に対応できる応用能力を身につける。また、学外での臨床実習を通して、臨床現場で役立つ診療放射線技師としての能力を養う。

(ウ) 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

京都医療科学大学の建学の精神により、以下のような能力を身につけ、かつ本学の学則に定める卒業に必要なすべての授業科目の単位を修得した者について、卒業を認定し学位を授与する。

- ① 品性を陶冶し、チーム医療の一員としてコミュニケーション能力と幅広い一般教養を兼ね備えている。
- ② 医療技術に関する専門的知識 及び 基礎となる知識を十分に修得している。
- ③ 思考力、理解力を有し日々進歩する技術に自ら対応できる能力を備えている。
- ④ 医療技術で地域社会・グローバル社会に貢献するとともに、国民の保健医療の向上に寄与し、人類の健康への願いを実現する強い意欲を持っている。

3) 法人の沿革

昭和 2 年 9 月	(1927 年)	島津レントゲン技術講習所創立(各種学校) 修業期間 6 ヶ月 入学定員 20 名
昭和 6 年 10 月	(1931 年)	修業期間を 9 ヶ月に延長 入学定員を 25 名に増員
昭和 10 年 2 月	(1935 年)	校名を「レントゲン技術専修学校」と改称 修学期間を 1 年に延長 入学定員を 30 名に増員
昭和 21 年 4 月	(1946 年)	入学定員を 50 名に増員
昭和 27 年 4 月	(1952 年)	修学期間を 2 年に延長 総定員を 100 名に増員
昭和 44 年 4 月	(1969 年)	修学期間を 3 年に延長 総定員を 150 名に増員
昭和 45 年 4 月	(1970 年)	校名を「京都放射線技術専門学校」と改称
昭和 52 年 11 月	(1977 年)	学校法人「京都放射線学園」設立 各種学校を専修学校に変更
昭和 58 年 4 月	(1983 年)	校名を「京都医療技術専門学校」と改称 法人名称を「京都島津医療技術学園」と改称
昭和 62 年 2 月	(1987 年)	短期大学設立準備室を開設
昭和 63 年 12 月	(1988 年)	「京都医療技術短期大学」の設置認可 京都府知事所轄から文部大臣所轄に組織変更認可
平成元年 4 月	(1989 年)	「京都医療技術短期大学」開学
平成 3 年 8 月	(1991 年)	「京都医療技術専門学校」を廃止 法人名称を「島津学園」と改称
平成 17 年 4 月	(2005 年)	4 年制大学開設準備室を設置
平成 18 年 4 月	(2006 年)	「京都医療科学大学」設置認可申請
平成 18 年 11 月	(2006 年)	「京都医療科学大学」設置認可

平成 19 年 4 月	(2007 年)	「京都医療科学大学」開学
平成 23 年 10 月	(2011 年)	「京都医療技術短期大学」廃止

4) 設置する学校・学部・学科等

2022 年 4 月 1 日現在

設置する学校	学部	学科	修学年限
京都医療科学大学 (平成 19 年 4 月開学)	医療科学部	放射線技術学科	4 年

5) 定員等

2022 年 5 月 1 日現在 単位(名)

入学定員	収容定員	現員数
80	320	382

6) 学生数の状況

2022 年 5 月 1 日現在 単位(名)

学年	男子	女子	計
1 年	47	56	103
2 年	42	48	90
3 年	48	50	98
4 年	49	42	91
合計	186	196	382

7) 入試の状況

2023 年入試状況 単位(名)

志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
410	375	113	91

8) 国家試験の状況

2023 年 3 月末合格状況 単位(名)

卒業生【学位授与】数	国家試験受験者数	国家試験合格者数
80	78	78

9) 卒業生の就職状況

2023年5月1日現在 単位(名)

大学院進学	国公大付属	私立大附属	国公立病院	公的施設	私立病院 企業附属	検診系/他
2	5	5	12	8	35	12

10) 教職員の概要

2023年3月31日現在 単位(名)

教員					専任職員
教授	准教授	講師	助教	兼任教員	
10	2	6	4	33	22

教員が有する学位

職位	学位	氏名	性別
学長/教授	博士(医学)	遠藤 啓吾	男
教授	博士(医学)	柴田 登志也	男
教授	博士(工学)	佐藤 敏幸	男
教授	博士(医学)	渡邊 祐司	男
教授	博士(工学)	森 正人	男
教授	博士(医学)	江本 豊	男
教授	博士(医学)	大野 和子	女
教授	博士(医学)	松尾 悟	男
教授	博士(保健学)	水田 正芳	男
教授	博士(工学)	澤田 晃	男
准教授	博士(工学)	田畑 慶人	男
准教授	博士(保健学)	松本 圭一	男
講師	修士(英語教授法)	山本 美津子	女
講師	学士(文学)	遠山 景子	女
講師	修士(工学)	赤澤 博之	男
助教	博士(文学)	青野 美幸	女
講師	修士(文学)	富高 智成	男
講師	博士(保健学)	霜村 康平	男
助教	博士(薬学)	屋木 祐亮	男
助教	博士(保健学)	桑原 奈津美	女
助教	修士(応用情報学)	本谷 崇之	男
助教	博士(保健学)	石田 翔太	男

11) 学費

単位(円)

学費	1年次		2年次以降	
	入学時	後期	前期	後期
入学金	250,000	—	—	—
授業料	450,000	450,000	450,000	450,000
施設設備費	175,000	175,000	175,000	175,000
実験実習料	145,000	175,000	175,000	175,000
計	1,020,000	800,000	800,000	800,000

12) 役員概要

①役員

2023年3月31日

理事：定数8名 現員数8名			監事：定数2名 現員数2名	
役職		氏名	役職	氏名
理事	理事長	上田 輝久	監事	高橋 一浩
	学長	遠藤 啓吾	監事	藤井 浩之
	常務理事	鈴木 英文		
	外部理事	伏木 信次		
	外部理事	平岡 眞寛		
	外部理事	小西 淳二		
	外部理事	山田 惠		
	外部理事	山本 靖則		

②評議員

評議員：定数17名 現員数17名			
上田 輝久*	鈴木 英文*	伏木 信次*	山田 惠*
山本 靖則*	溝脇 尚志	中本 裕士	錦 成郎
玉田 彰	西谷 源展	神澤 良明	埜藤 眞純
藤田 透	伊藤 邦昌	佐藤 敏幸	森 正人
大野 和子	*は理事と兼任		

事業の概要

1) 中長期目標

建学の精神、教育理念、教育目的のもと3つのポリシーを具現化するため中長期計画を策定する。

基本方針

- ① 医療科学技術の進歩に対応できる人材を育成する。
- ② 医療専門職にふさわしい学士力の醸成と品性の確保を目指す。
- ③ 教育研究環境を充実させる。

目標

基本方針に則り、2022年度において達成する目標を次のように定める。

- ① 入学したくなる教育体制と修学支援体制が作られている。
- ② 学びやすく自修意欲がわく学内環境が整備されている。
- ③ 地域に評価される社会貢献活動を行っている。
- ④ 国際交流が活発に行われている。
- ⑤ FD、SD活動が定常化している。
- ⑥ PDCAサイクルの展開が行われている。

2) 2022年度の事業内容

(ア) 教育研究環境の整備

デジタルマンモグラフィ装置



島津製作所よりご寄付頂いた教育用医療機器導入資金により、最新のデジタルトモシンセシス（断層機能）撮影にも対応した、キヤノン製デジタルマンモグラフィ装置（Pe・ru・ru LaPlus）を導入した。

女性診療放射線技師の多く携わるマンモグラフィ撮影の重要度が増している中、学内での教育内容の充実を図る。

(イ) 学生支援

ビジネス文書検定等の実施

ビジネス文書検定は、「社外・社内文書」「ビジネスメール」「手紙」「添え状」作成、文書の取り扱いなど、ビジネスの場で役立つ知識があることを証明できる就職に有利な資格である。

「就職に強い大学」として、文系の資格試験に取り組む環境を整えた。



資格対策講座・模擬試験、就活で勝つための小論文講座等、1年次から4年次まで途切れることのない充実したキャリア支援を実施した。

その結果、ビジネス文書検定（公益財団法人 実務技能検定協会主催、文部科学省後援）において優秀な成績を修め、優秀団体の部で最高位の「文部科学大臣賞」（全国 233 団体より 3 団体のみ選出）を受賞した。

次年度以降も、引き続き実施する。

3) 学生生活

主な年間行事

2022年4月1日	<p>初年次学生に対するチームビルディング【自己の探求】</p> <p>12月からオンラインで入学予定者対象に毎月1回開催している入学前支援プログラムの一環として、入学式直前に対面でのワークを開催した。グループ単位で課題に話し合っって取り組むことで、入学式前の段階でお互いの関係性を作り上げるきっかけとなった。</p>
2022年4月2日	<p>2022年度 京都医療科学大学 入学式を挙</p> <p>101名の新入生が入学</p> 

	<p>学長杯スポーツ大会</p> <p>人工芝グラウンド完成後、初めての「学長杯スポーツ大会」を開催。コロナ禍での開催に当たり、マスク着用・検温の実施、人数制限などを行った。</p> 
<p>2022年5月28日</p>	<p>愛知医大解剖学見学実習</p> <p>愛知医科大学の協力のもと、医師・歯科医師にしか認められていないご献体の解剖についての実習見学を3年生が実施した。</p> 
<p>2022年5月28日</p>	<p>就職懇談会実施</p> <p>4年生向けに学友会主催の就職懇談会を開催し、先輩の話聞いた。</p> <p>その後大学病院、公的病院、一般病院、予防医学などに分かれて個別相談会も行った。</p> 
<p>2022年7月</p>	<p>病院実習開始</p> <p>4年生が提携先の13施設で実習を行った。</p> <p>実際の臨床現場での体験は、診療放射線技師として働く心構えや、役割の理解など深い学びにつながっている。</p>
<p>2022年8月23日</p>	<p>京都光華高校来校</p> <p>光華高校医療貢献コースの1年生が大学見学を行った。「放射線の基礎知識」を受講後、MRI室とX線実験フロアを見学し、食堂で学食体験を行った。</p> 

<p>2022年9月</p>	<p>第1種放射線取扱主任者試験 講義スタート</p> <p>9月13日より次年度8月に行われる第1種放射線取扱主任者試験に向けた勉強会を開始した。国家試験の受験対策にもなるこの勉強会には学年を問わず、多くの学生が参加している。</p> 
<p>2022年10月29日</p>	<p>大瑠璃祭</p> <p>コロナの影響で3年ぶりの開催となった大瑠璃祭には、卒業生や学友会だけでなく、近隣からも多くの方々が参加し、賑いを見せた。</p>  
<p>2022年12月20日</p>	<p>キャリア支援センター 交流分析講座</p> <p>特に初期段階から力を入れているキャリア教育（自己分析）で、自身の特徴を数値で客観的に把握することで、これからの自己改善のきっかけとなった。</p> 
<p>2022年12月22日</p>	<p>クリスマス会</p> <p>コロナ禍のためビンゴ大会中心のイベントとなったが、多数の学生が集まり、豪華賞品を当てるなどの場面では盛り上がりを見せた。</p>  
<p>2023年3月11日</p>	<p>2022年度 京都医療科学大学 卒業式を挙</p> <p>78名が卒業し一人一人に学位記が授与された。</p> 

4) 国際交流

ベトナム社会主義共和国で病院実習及び学生交流を目的とした海外研修を実施した。

実施日：2023年3月13日～23日

主な訪問先：チョーライ病院、タンアン一般病院、フエ医科薬科大学

参加学生：3年生12名（男子1名、女子11名）

ベトナム研修の前半ではホーチミン市に滞在し、チョーライ病院にて様々なモダリティで研修を行った。日本とは異なる海外での病院研修では、臨床実習における内容の違いなども学ぶことができ、貴重な機会となった。加えて今回の病院研修は、偶然にもホーチミン医科薬科大学の学生の研修期間と重なっており、学生交流をする機会にも恵まれた。また、研修の最終日にはチョーライ病院のスタッフに対し、日本文化や日



本の診療放射線技師について英語によるプレゼンテーションを行った。



研修の後半は、海外協定校であるフエ医科薬科大学の学生と交流した。文化交流のために練習を重ねたソーラン節も非常に好評であった。

社会がますますグローバル化する中において、医療現場でも専門性に加え、国際的な視野が求められている。他国の文化に触れ、他国の

医療や診療放射線技師の役割について学ぶ貴重な機会となるこの海外研修は、日本の文化や医療を客観視する力を涵養できる非常に充実したものである。また、英語発表や文化交流の準備を通して団結力やチーム力を高める意味においても重要であると考えられ、今後も充実した研修として行く。

5) 地域貢献

区分	内容	詳細
体験	<p>勤労体験学習</p> <p>地域貢献の一環で、11月9日、園部中学の2年生3名の職場体験を受け入れた。</p> 	<p>園部中学校 (11月)</p>

<p>体験</p>	<p>2年生生活科 「とび出せ！町のたんけんたい」における施設見学</p> <p>11月15日に園部第二小学校の2年生8名が学校見学を行った。</p>		<p>園部第二小学校 (11月)</p>
<p>体験</p>	<p>「地域ふれあいサイエンスフェスタ 2022」ブース参加</p> <p>探求と創造をキーワードに1997年から行われている本イベントにブース参加を行った。当日はボランティア学生7名と教職員が対応に当たった。</p>		<p>亀岡市ガレリア (11月)</p>

6) 学生募集活動

入試日程

区分	日程	会場
総合入試	2022年10月22日	本学
推薦入試	2022年11月19日	本学、大阪、名古屋
社会人入試	2022年11月19日	本学
一般前期	2023年1月28日	京都、大阪、名古屋、東京、福岡
一般後期	2023年3月4日	本学

オープンキャンパス開催日

開催日	参加者数
2022年3月19日	90人
2022年5月29日	110人
2022年6月19日	86人
2022年7月9日	74人
2022年7月10日	82人

2022年8月6日	85人
2022年8月7日	92人
2022年8月27日	127人
2022年10月2日	93人
2022年12月17日	68人
合計参加者	907人

7) 学生の研究支援

学会名	日程及び場所	発表演題
※本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施せず		

8) 外部資金の獲得状況

区分	研究課題名	区分	研究代表者
科研費	ペロブスカイト半導体による放射線検出器の開発	基盤研究(C)	佐藤 敏幸
科研費	CBCT 画像ベースの装置との干渉を考慮したオンライン適応放射線治療システムの開発	基盤研究(C)	澤田 晃
科研費	参加型臨床実習実現に向けた放射線技師学生のための医療接遇教育システムに関する研究	基盤研究(C)	松尾 悟
科研費	機械学習による FDG-PET 画像の画質自動判定のための効率的な教師データ作成	基盤研究(C)	松本 圭一
科研費	空洞電離箱線量計における極性効果補正方法の評価および改善	若手研究	霜村 康平
科研費	肺癌患者への迅速な診断・治療を実現するモレキュラーコンバーチブルプローブの開発	若手研究	屋木 祐亮
科研費	深層学習による高解像マルチパラメトリック ASL の開発	若手研究	石田 翔太
受託研究	PET/CT 装置の画質評価のための解析ソフトの検証研究		松本 圭一

受託研究	中谷財団令和3年度技術開発研究助成 奨励研究	屋木 祐亮
------	------------------------	-------

9) F D ・ S D 活動

研修日	研修名称	主催
2022年5月10日	「自学で学びたい！」と思う高校生を増やす、育てる広報戦略のポイント～年内入試で選ばれる大学になるために～	Between ウェブセミナー
2022年5月12日	延べ志願者数時代からの転換期における、一般選抜までの広報計画の描き方～志望意欲を育て、入学までの歩留まりを向上させる～	Between ウェブセミナー
2022年5月13日	述べ志願者数時代からの転換期における、一般選抜までの広報計画の描き方～志望意欲を育て、入学までの歩留まりを向上させる～	Between ウェブセミナー
2022年6月3日	「大学教職員向け 新課程入試情報セミナー～新課程スタート。高校の指導から入試設計のヒントを探る～」	Between ウェブセミナー
2022年6月16日	DX時代の教育	EDIX 実行委員会
2022年6月20日	学校法人会計の仕組み	SKK（私学経営研究所）
2022年6月21日	2022年度第1回大学入学者選抜改革 WEB セミナー	学校法人河合塾
2022年6月23日	研究支援体制強化セミナー2022	株式会社エデュース
2022年6月28日	新時代の広報セミナー	株式会社さんぼう 株式会社 Doorke1
2022年6月29日	CiNii Research が目指す学術情報発見と利用の新しいステージ	株式会社サンメディア
2022年6月30日	コロナ下で前進する大学図書館のレファレンスサービス	株式会社サンメディア
2022年7月1日	第49回 教育機関 DX シンポジウムアーカイブ Web セミナー	国立情報学研究所
2022年7月1日	Active Academy Advance によるデータ抽出事例のご紹介	株式会社電翔
2022年7月7日	教育の質保証実践セミナー	学びと成長しくみデザイン研究所

2022年7月20日～8月2日 (オンライン視聴)	コロナ禍で進むオンライン授業	島津理化
2022年7月26日	やさしくわかる学校法人の経営分析(第2版)』出版記念 Webinar (オンラインセミナー)	有限責任監査法人トーマツ
2022年8月4日	改正育児・介護休業法について	京都労働局
2022年8月8日	改正育児・介護休業法説明会	京都労働局雇用環境・均等室
2022年8月9日	広報効果測定1日セミナー	宣伝会議
2022年8月18日	大学等におけるセキュリティ対策にかかるセミナー	文部科学省
2022/8/22・23	令和4年度心の問題と成長支援ワークショップ (ZOOM)	独立行政法人 日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課
2022年8月23日	高校生の進路選択行動の変化と今後採るべき募集戦略について	株式会社リクルート
2022年8月25日	教職員・情報通信技術支援員 (ICT 支援員) 著作権講習会 教育機関における著作物利用と知財教育「授業目的公衆送信補償金制度の現状と留意点」	文化庁著作権課
2022年8月26日	第1回京都府地域共創大学連携会議	京都府
2022年8月30日	科研費獲得ウェビナー	株式会社羊土社
2022年8月30日	内部監査体制の構築と強化	公益社団法人私学経営研究会
2022年8月31日	学校会計の研修会 (基礎編+操作セミナー)	Grape City
2022年9月1日	科研費等公的研究費に関する研修会の件	有限責任監査法人トーマツ
2022年9月1日	データから見る学生募集市場の変化とターゲティング活用の有用性について	株式会社リクルート
2022年9月6日	これからの学生募集戦略を考える～常態化した定員未充足への打ち手～	進研アド

2022年9月7日	これからの学生募集戦略を考える ～常態化した定員未充足への打ち 手～	進研アド
2022年9月9日	2022年度京都府安全・安心推進協 議会総会	京都府警察本部
2022年9月27日	2022年度 科研費申請支援講演会	エデュース株式会社 ロバスト・ジャパン株式会 社
2022年9月28日	大学振興部会の審議まとめ（第3 回審議までの資料考察）	株式会社島津理化 江波戸 氏
2022年10月12日	第20回学校法人内部監査担当者 研究会「学校法人における人事制 度・人材育成の課題」	有限責任監査法人トーマツ
2022年10月16日	キャリアコンサルタント更新講習	株式会社トータルバランス マネジメント
2022年10月18日	担当者には今知ってほしい、募集 施策のポイントとトレンド	株式会社エデュース
2022年10月20日	令和4年度地域事務担当者向け説 明会	日本私立学校振興・共済事 業団 大阪ガーデンパレス共済業 務課
2022年10月24日	南丹警察テロ対策ネットワーク研 修会	京都府南丹警察署警備課
2022年10月27日	募集戦略立案セッション事前セミ ナー	株式会社エデュース
2022年10月27日～ 11月2日	2022年第2回大学入試セミナー 『2023年度入試最新入試動向』	株式会社 KEI アドバンス
2022年11月2日	志願者数を増やす、集客最大化の ための教育機関のSEO	株式会社 Speee
2022年11月3日	Digital リテラシー講座	アデコ株式会社
2022年11月10日	入学者 育成 研究会 医療系 Web セミナー	進研アド
2022年11月20日～ 21日	【第60回全国学生相談研修会】オ ンラインセミナー	全国学生相談学会

2022年11月24日	内田洋行大学高校実践ソリューションセミナー 「医学教育におけるDXと推進の課題」	株式会社内田洋行 大学・高校実践ソリューションセミナー事務局
2022年11月24日	内田洋行大学高校実践ソリューションセミナー 「医学教育におけるDXと推進の課題」	株式会社内田洋行 大学・高校実践ソリューションセミナー事務局
2022年11月25日	内田洋行Webセミナー 「Microsoft 365 包括契約を有効活用！SharePointを活用した学内ポータルサイトで学内リソースを見える化」他	株式会社内田洋行 大学・高校実践ソリューションセミナー事務局
2022年11月28日 ～11月29日	令和4年度甲種防火管理新規講習	京都中部広域消防組合
2022年12月3日	メンタルヘルスの問題を抱える相談者への対応 (ZOOM)	日本キャリア開発協会
2022年12月6日	2022年度研究公正シンポジウム 「研究分野特有の研究不正への対応について」	日本学術振興会
2022年12月6日 ～12月7日	学校法人における決算準備と計算書類作成のすすめ方	日本経営協会 NOMA
2023年12月7日	HPのサイト設計について	株式会社センタード
2022年12月8日	令和4年度学生生活にかかる喫緊の課題に関するセミナー	独立行政法人日本学生支援機構
2022年12月8日	リージョナルサミット2022	宣伝会議
2022年12月9日	医療人を育てるセミナー	進研アド
2022年12月12日	入学者育成研究会 医療系 Webセミナー	進研アド
2022年12月16日	大学経営を支援するマネジメントセミナー	監査法人トーマツ
2022年12月19日	企業のキャリア開発の進め方～組織におけるキャリア課題と対応方法～ (ZOOM)	日本生産性本部
1/12-3/30 (毎週木曜日受講)	マーケティング実践講座 37期	宣伝会議

2023年1月22日、2月19日、3月12日 (全3回)	認知行動療法のキャリアへの活用 (ZOOM)	JCDA
2023年1月25日	大学就職部担当サポートセミナー (対面)	リーガルマインド京都
2023年1月31日	大学生の「学力低下」にどう向き 合うべきか (ZOOM)	大学コンソーシアム京都

10) 寄付の状況

2023年3月末現在

寄付区分		件数	金額
現金寄付	一般寄付金	29件	4,282,000円
	特別寄付金	3件	30,687,000円

11) 島津基金運用状況

2022年3月に株式会社島津製作所様より、株式(株式時価948,884,784円)をご寄付いただき、島津基金を設置した。

島津基金は、奨学金の給付および教育研究施設・設備等の充実により、学校法人島津学園京都医療科学大学学生の勉学を助成し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為な人材の育成に資することを目的とする。

島津基金を、第3号基本金に組み入れ、同号の基本金引当資産として管理運用した結果、2022年度の配当金は31,188,624円であった。

配当金は、島津奨学金として次の通り運用した。(合計22,729,134円を支出)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 特待新入生奨学金 | 1,800,000円 |
| 2. 特待生奨学金 | 8,550,000円 |
| 3. 資格取得奨励奨学金 | 1,946,000円 |
| 4. 経済支援奨学金 | 4,450,000円 |
| 5. 海外交流奨学金 | 987,240円 |
| 6. 教育改革支援金 | 1,313,094円 |
| 7. 教育設備 | 3,682,800円 |

12) 施設等の状況

(1) 土地

種別	所在地	面積	備考
校地	京都府南丹市園部町小山東町今北1番3	20,640 m ²	

(2) 建物

種別	構造	面積	備考
本館	鉄筋コンクリート造5階建	3,179.32 m ²	内未登記 (66.51 m ²)
校舎 (1号館)	鉄筋コンクリート造3階建	7,262.33 m ²	
校舎 (2号館)	鉄筋コンクリート・鉄骨造り5階建		
ボンベ庫	ストレート葺ブロック造平屋建	4.00 m ²	
屋外学生休息施設	鉄骨造	23.10 m ²	未登記
合計		10,468.75 m ²	

財務比率の推移

5カ年連続財務比率表を下記に掲載する。

(1) 貸借対照表関係比率

単位%

比率名	算出方法	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	全国平均 *1	自己評価 *2
固定資産構成比率	固定資産	79.23	76.59	76.90	79.12	76.89	85.6	～
	総資産							
有形固定資産構成比率	有形固定資産	76.92	73.80	73.94	55.90	53.86	63.1	～
	総資産							
特定資産構成比率	特定資産	1.89	2.02	2.18	22.77	22.67	19.9	～
	総資産							
流動資産構成比率	流動資産	20.77	23.41	23.10	20.88	23.11	14.4	○
	総資産							
固定負債構成比率	固定負債	2.14	2.16	2.22	1.87	1.89	4.6	○
	総負債＋純資産							
流動負債構成比率	流動負債	6.00	8.79	6.03	4.82	4.88	4.9	～
	総負債＋純資産							
内部留保資産比率	運用資産－総負債	14.32	14.12	16.33	36.76	38.36	26.3	○
	総資産							
運用資産余裕比率	運用資産－外部負債	106.26	107.31	97.16	245.12	250.88	200.0	～
	経常支出							
純資産構成比率	純資産	91.86	89.05	91.75	93.32	93.23	90.5	～
	総負債＋純資産							
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額	-22.90	-22.00	-25.96	-20.21	-21.02	-24.3	～
	総負債＋純資産							
固定比率	固定資産	86.25	86.01	83.81	84.79	82.48	94.5	○
	純資産							
固定長期適合率	固定資産	84.28	83.97	81.83	83.12	80.84	89.9	○
	純資産＋固定負債							
流動比率	流動資産	346.43	266.23	383.16	433.63	473.66	296.7	○
	流動負債							
総負債比率	総負債	8.14	10.95	8.25	6.68	6.77	9.5	～
	総資産							
負債比率	総負債	8.86	12.30	8.99	7.16	7.26	10.5	～
	純資産							
前受金保有率	現金預金	394.32	395.42	490.24	505.39	535.58	421.3	～
	前受金							
退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産	100	100	100.00	100.00	100.00	60.2	○
	退職給与引当金							
基本金比率	基本金	100	100	100.00	100.00	100.00	99.1	～
	基本金要組入額							
減価償却比率	減価償却累計額(図書除く)	37.37	39.19	41.70	43.33	48.11	53.9	～
	減価償却資産取得価格							
積立率	運用資産	58.62	63.54	55.70	74.88	74.15	66.7	～
	要積立額							

(2) 事業活動収支計算書関係比率

単位%

比率名	算出方法	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	全国平均*1	自己評価*2
人件費比率	人件費	51.87	53.24	52.64	22.29	47.15	54.9	～
	経常収入							
人件費依存率	人件費	61.70	64.92	67.40	61.78	59.95	94.7	○
	学生生徒等納付金							
教育研究経費比率	教育研究経費	39.11	39.46	43.43	17.99	41.41	34.0	～
	経常収入							
管理経費比率	管理経費	14.31	14.11	13.54	5.92	13.13	11.1	～
	経常収入							
借入金等利息比率	借入金等利息	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.2	～
	経常収入							
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	2.68	-5.36	6.11	55.17	2.57	1.5	～
	事業活動収入							
基本金組入後収支比率	事業活動支出	109.85	105.36	118.17	99.28	105.53	130.3	～
	事業活動収入-基本金組入額							
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	84.07	82.01	78.11	36.08	78.65	58.0	○
	経常収入							
寄附金比率	寄附金	7.77	8.42	15.71	57.98	4.21	16.7	△
	事業活動収入							
経常寄附金比率	教育活動収支の寄附金	4.02	4.13	3.56	57.14	0.62	16.2	△
	経常収入							
補助金比率	補助金	12.27	9.99	13.84	5.35	11.08	13.9	～
	事業活動収入							
経常補助金比率	教育活動収支の補助金	9.48	10.47	14.29	5.44	11.56	13.6	～
	経常収入							
基本金組入率	基本金組入額	11.41	0.00	20.55	54.85	7.67	24.5	～
	事業活動収入							
減価償却額比率	減価償却額	19.96	19.35	17.51	19.51	18.10	12.5	～
	経常支出							
経常収支差額比率	経常収支差額	-5.29	-6.81	-9.61	53.80	-1.69	-0.2	～
	経常収入							
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額	-5.29	-6.82	-9.62	53.80	-5.84	-4.7	～
	教育活動収入計							

*1 全国平均：日本私立学校振興・共済事業団発行「今日の私学財政 2022 年度版」を引用

*2 「自己評価」欄の説明：

○ 全国平均と比べて優れている △ 全国平均と比べて劣っている ～どちらともいえない

2021年度は株式寄付の影響で数値が大きく変動しているが、寄付が単年度のみに影響する財務比率については過去の推移により評価を行っている

教員研究業績

(1) 原著論文

1. **Ishida S**, Kimura H, Takei N, Fujiwara Y, Matsuda T, Kanamoto M, Matta Y, Kosaka N, Kidoya E : Separating spin compartments in arterial spin labeling using delays alternating with nutation for tailored excitation (DANTE) pulse: A validation study using T2 - relaxometry and application to arterial cerebral blood volume imaging , Magnetic Resonance in Medicine,2022,87(3),1329-1345
2. **大野和子** : 被ばくに関する患者との情報共有, 臨床画像,2022,38,1000-1002
3. **Kuwabara N**, Kawashima H, Does residual ultrasound transmission gel affect the diagnostic ability of mammography? Radiological Physics and Technology,2022,15(3),245-248
4. **桑原奈津美**, 浅野早也香, 川島博子 : 画像再構成法が集簇性石灰化に対するデジタル乳房トモシンセシスガイド下吸引式組織生検に与える影響, 日本放射線技術学会雑誌,2022,78(2),180-187
5. **Yagi Y**, Kimura H, Kondo Y, Higuchi T : Novel synthesis of an [18F]aryl boronic acid ester as a reagent for ¹⁸F-labeling via Suzuki coupling , Tetrahedron Letters,2022,Volume 104,154010
6. Fujiwara Y, **Ishida S**, Matta Y, Kanamoto M, Kimura H : Atlas-based relaxometry and subsegment analysis of the substantia nigra pars compacta using quantitative MRI: A healthy volunteer study. ,The British Journal of Radiology,2022,95 (1135) ,20210572-20210572
7. Takeuchi K, Isozaki M, Higashino Y, Kosaka N, Kikuta K, **Ishida S**, Kanamoto M, Takei N, Okazawa H, Kimura H : The utility of arterial transit time measurement for evaluating the hemodynamic perfusion state of patients with chronic cerebrovascular stenosis or occlusive disease: Correlative study between MR Imaging and ¹⁵O-labeled H₂O positron emission tomography. ,Magnetic Resonance in Medical Sciences, 2022, https://www.jstage.jst.go.jp/article/mrms/advpub/0/advpub_mp.2020-0123/_article-char/ja/
8. Yamauchi T, Kitai R, Kodera T, Arishima H, Matsuda K, Isozaki M, **Ishida S**, Matta Y, Kanamoto M, Kimura H, Kikuta K : Comparison of amide proton transfer imaging with perfusion imaging of using arterial spin-labeling for evidence of tumor invasion in glioblastoma ,Interdisciplinary Neurosurgery,2022,28,101461-101461

9. Ozaki K, **Ishida S**, Higuchi S, Sakai T : Kitano A, Takata K, Kinoshita K, Matta Y, Ohtani T, Kimura H, Gabata T : Diagnostic performance of abbreviated gadoteric acid-enhanced magnetic resonance protocols with contrast-enhanced computed tomography for detection of colorectal liver metastases ,World Journal of Radiology,2022,14(10),352-366
10. Yokoyama S, Tsujimura N, Hashimoto M, Yoshitomi H, Kato M, Kurosawa T, Tatsuzaki H, Sekiguchi H, Koguchi Y, Ono K, Akiyoshi M, Kunugita N, Natsuhori M, Natsume Y, Nabatame K, Kawashima T, Takagi S, **Ohno K**, Iwai S : The Japan Health Physics Society guideline on dose monitoring for the lens of the eye,J. Radiat. Prot. Res. ,2022,47,1-7
11. 小田紘弘,上原周三,中野努,**田畑慶人**,**水田正芳**,井手口忠光,青木隆敏 : FPD 胸部撮影における X 線線質と肺結節のコントラストノイズ比-胸部ファントムモデルを用いたモンテカルロシミュレーションによる解析-,日本放射線技術学会雑誌,2022,78(2),159-170
12. Akamatsu G, Shimada N, **Matsumoto K**, Daisaki H, Suzuki K, Watabe H, Oda K, Senda M, Terauchi T, Tateishi U : New standards for phantom image quality and SUV harmonization range for multicenter oncology PET studies ,Annals of Nuclear Medicine,2022,36(2),144-161
13. Kondo Y, Kimura H, Sasaki I, Watanabe S, Ohshima Y, **Yagi Y**, Hattori Y, Koda M, Kawashima H, Yasui H, Ishioka N : Copper-mediated radioiodination and radiobromination via aryl boronic precursor and its application to ¹²⁵I/⁷⁷Br-labeled prostate-specific membrane antigen imaging probes. ,Bioorganic & Medicinal Chemistry,2022,69,116915

(2) 著書・報告集など

14. **赤澤博之**,笠井俊文 : 診療画像機器学(X 線)〔西谷源展、遠藤啓吾、赤澤博之 編〕診療放射線技師国家試験対策全科(第 14 版),金芳堂,2022,,175~208
15. **赤澤博之**,笠井俊文 : 診療画像機器学,診療放射線技師国家試験 完全対策問題集 2023 年版,オーム社,2022,,18~67, 416~455
16. **遠山景子**, **遠藤啓吾**, **田畑慶人**, **松本圭一**, **森 正人**,その他 : 医用放射線辞典 第 6 版,共立出版,2023,,
17. **松尾 悟** : ICRP の放射線防護の基本概念,診療放射線技師 国家試験対策全科,金芳堂,2022,,474-475
18. **松本圭一** : 核医学検査技術学〔西谷源展、遠藤啓吾、赤澤博之 編〕,診療放射線技師国家試験対策全科 14 版 ,金芳堂,2022,,371-409

19. **桑原奈津美** : 診療画像検査学〔西谷源展、遠藤啓吾、赤澤博之 編〕(9 節-12 節) ,診療放射線技師国家試験対策全科 14 版 ,金芳堂,2022,,293-300
20. 大西英雄,本村信篤,松友紀和,**松本圭一** : PET 装置の性能評価と保守点管理,核医学検査技術学改訂 4 版 ,オーム社,2022,,240-246

(3) 国際会議発表

21. **Ishida S**, Kimura H, Takei N, Fujiwara Y, Matsuda T, Kosaka N : Effects of vascular territories on the efficiency of DANTE preparation pulse for ASL ,2022 Joint Annual Meeting ISMRM-ESMRMB,2022.5,Web
22. **Yamamoto M ,Tomitaka T** : Effects of Short-term Study Abroad to EFL countries for Japanese Healthcare Students,56th RELC International Conference,2022.3,Singapore
23. **Yamamoto M** : 小規模単科医療系大学における初めての日米連携型 COIL 実践と課題,日本比較文化学会(The Japan Association of Comparative Culture) 第 44 回全国大会・2022 年度国際学術大会, 2022.5, 山形大学 (古白川キャンパス)
24. **Yamamoto M** : Learning Possibilities by Observing COIL(Collaborative Online International Learning),The International TESOL Conference 2022, 2022.12,Ton Duc Thang University, Vietnam
25. **Matsumoto K**, Wada Y, Murase K, **Endo K** : Development of Poisson noise reduction method using wavelet based BayesShrink technique in brain SPECT,35th Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine,2022.10,Barcelona
26. Fujiwara Y, **Ishida S**, Matta Y, Kanamoto M, Kimura H : Relaxometry of the Substantia Nigra Pars Compacta and Subsegment Analysis: A Healthy Volunteer Study ,2022 Joint Annual Meeting ISMRM-ESMRMB,2022.5,Web
27. Akamatsu G, Ohnishi A, Ikari Y, Nishida H, Shimizu K, **Matsumoto K**, Aita K, Sasaki M, Yamane T, Senda M : Radiation dosimetry of a novel tau PET tracer [18F]MK6240 in the Japanese cognitively normal elderly,The 13th Congress of the World Federation of Nuclear Medicine and Biology,2022.9,Kyoto
28. Ohnishi A, Akamatsu G, Ikari Y, Nishida H, Shimizu K, **Matsumoto K**, Aita K, Sasaki M, Yamane T, Senda M : Exploratory evaluation of brain accumulation pattern and degree of a novel tau PET tracer [18F]MK6240 in Japanese patients with mild Alzheimer's disease.,The 13th Congress of the World Federation of Nuclear Medicine and Biology,2022.9,Kyoto
29. Akamatsu G, Shimada N, **Matsumoto K**, Daisaki H, Suzuki K : Japanese activities for standardization of quantitative PET imaging,The 13th Congress of the World

(4) 国内会議発表

30. 石田翔太:深層ニューラルネットワークによる ASL パラメタ推定法の開発,第 50 回 日本磁気共鳴医学会大会,2022.9,名古屋国際会議場
31. 大野和子:カテーテル治療における心エコー従事者の放射線被曝,第 33 回 日本心エコー図学会学術集会,4,米子市
32. 大野和子:呼吸器診療における核医学の可能性 一核医学の被曝に対する正しい理解一, 第 62 回 日本呼吸器学会学術講演会, 京都市
33. 大野和子: 整形外科領域の水晶体被曝,第 95 回日本整形外科学会学術総会, 神戸市
34. 大野和子: 職業被曝と防護 特に水晶体被曝,第 30 回日本腰痛学会, 10, 盛岡市
35. 佐藤敏幸: 放射線検出器作製のためのペロブスカイト半導体膜の厚膜化, 第 83 回応用物理学会秋季学術講演会,2022.9,東北大学
36. 富高智成, 中田英利子, 向居 暁, 清水寛之: 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (7) 一失敗に気づいた時の感情と思考に関する共起ネットワーク分析一,日本教育心理学会第 64 回総会,2022.8,Web 開催
37. 富高智成, 向居 暁, 中田英利子, 清水寛之: 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (10) 一想起された失敗エピソードに対する現在の感情・思考に関する共起ネットワーク分析一, 日本心理学会第 86 回大会,2022.9,日本大学文理学部+Web (ハイブリッド)
38. 富高智成, 中田英利子, 向居 暁, 清水寛之: 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (13) 一想起された失敗直後の感情と思考に関する共起ネットワーク分析一,日本パーソナリティ心理学会第 31 回大会,2022.12,沖縄県市町村自治会館
39. 松尾 悟, 前田祐輔、碩 翔馬、野入晴斗、吉田圭吾: 診療放射線技師のための多言語音声翻訳アプリケーションの開発,第 35 回滋賀県診療放射線技師会研究発表会,2022.05.29,草津市市民ホール
40. 松本圭一, 清水敬二, 岡田乃栄, 岡田嘉子, 菊澤梨花, 武田こまち,遠藤啓吾: 斜めに配置した円筒型ファントムを用いた SPECT 空間分解能測定の妥当性,第 42 回日本核医学技術学会総会学術大会,2022.9,国立京都国際会館
41. 屋木祐亮, 近藤悠斗, 樋口隆弘, 木村寛之: F-18 標識ボロン酸誘導体との鈴木カップリング反応を用いた新規 F-18 標識法の開発, 日本薬学会第 142 回年会,2022.3,Web & 名古屋市
42. 中田英利子, 富高智成, 向居 暁, 清水寛之: 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (5) 一想起された失敗直後の感情と思考に関する対応分析一, 日本発達心理学会 第 33 回大

会,2022.3,Web 開催

43. 坊 隆史, 竹下 翔, 打和 登, **富高智成** : 新型コロナウイルス感染症流行初期における医療従事者のストレス反応の質的検討,第 29 回日本産業ストレス学会,2022.3,ウイックあいち
44. 中田英利子, **富高智成**, 向居 暁, 清水寛之 : 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (6) —失敗に気づいた時の感情と思考に関する対応分析— ,日本教育心理学会第 64 回総会,2022.8,Web 開催
45. 向居 暁, 中田英利子, **富高智成**, 清水寛之 : 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (8) —想起された失敗エピソードに対する現在の感情・思考における感情語の出現数— ,日本心理学会第 86 回大会,2022.9,日本大学文理学部+Web (ハイブリッド)
46. 中田英利子, **富高智成**, 向居 暁, 清水寛之 : 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (9) —想起された失敗エピソードに対する現在の感情・思考に関する対応分析— ,日本心理学会第 86 回大会,2022.9,日本大学文理学部+Web (ハイブリッド)
47. 中田英利子, **富高智成**, 向居暁, 清水寛之 : 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (11) —失敗に気づいた時の感情と思考に関する階層的クラスター分析— ,日本認知心理学会第 20 回大会 ,2022.10,神戸大学六甲台第 2 キャンパス+Web (ハイブリッド)
48. 中田英利子, **富高智成**, 向居 暁, 清水寛之 : 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (12) —想起された失敗直後の感情と思考に関する階層的クラスター分析— ,日本パーソナリティ心理学会第 31 回大会,2022.12,沖縄県市町村自治会館
49. 新居 健 ,堂本宏志,中村泰典, 棚田康友,白子公己,近藤亮太郎,**水田正芳**,細川翔太,高橋康幸 : 骨シンチ診断支援ソフトによる大腿骨頭壊死の検出能の検討,第 38 回 日本診療放射線技師学術大会,2022.9,神戸コンベンションセンター
50. 古川武典, 木村寛之, 志賀智華, 吉村茜音, **屋木祐亮**, 河嶋秀和, 安井 裕之 : Erythropoietin-producing hepatocellular A2 受容体を標的とした腫瘍イメージングプローブの開発 ,アイソトープ・放射線研究発表会,2022.7, Web 開催

(5) 講演

51. **赤澤博之** : 電離箱式サーベイメータ比較校正実習,兵庫県放射線技師会,京都医療科学大学,2022.8
52. **赤澤博之** : 線量計校正研修会,京都府放射線技師会,京都医療科学大学,2022.9
53. **石田翔太** : Multidelay ASL と Multiparametric ASL ,第 33 回 臨床 MR 脳機能研究会,アーバンネット神田カンファレンス,2022.5
54. **大野和子** : 今後の線量評価を考えるー医療領域から,第 33 回「高橋信次記念講演・古賀佑彦記念シンポジウム」,東京都
55. **大野和子** : X 線検査と被ばく管理,公益財団法人 全国労働衛生団体連合会 胸部 X 線検査

研修会,東京都

56. 大野和子 : 患者と医療スタッフへの放射線防護の基本,第 338 回 京都府整形外科医会講演会,京都市
57. 大野和子 : 医療スタッフの放射線安全管理の最近の動向,令和 4 年度 京都大学医学部附属病院放射性同位元素取扱者のための登録者教育訓練,京都市
58. 松本圭一 : 脳 FDG、アミロイドーファントム試験手順書の概要ー,第 22 回日本核医学会春季大会, 2022.5, Web 開催

(6) その他

【受賞】

59. 屋木祐亮 : 2021 年度奨励研究助成金贈呈,前立腺がんの精密な画像診断を可能とするモレキュラーコンバーチブルプローブの開発,公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団, 学士会館, 東京都